

梅小路だより

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/umekouji-s/>



令和7年2月28日
第2回学校評価特集号
京都市立梅小路小学校
校長 井上 奈美

TEL. 371-7303 FAX 371-6019

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

学校教育目標

自ら学び考え、行動する、「生きる力」を身に付けた子どもの育成

<めざす子ども像>

うまれた課題をあきらめずに探究する子ども
めあてにむかって多様な人と協働する子ども
ことばをたくみに使って、対話でつながる子ども

うんどうやスポーツを楽しむ子ども
じぶんも友だちも大切にする子ども



平素は、本校教育推進にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。12月に実施いたしました学校評価アンケートにつきまして、保護者の方々から多くのご回答をいただきました。心より御礼申し上げます。今回は、アンケート結果をもとに、発展させるべきところ、改善すべきところを明らかにし、来年度の教育活動に生かしていきたいと思います。

児童のアンケート結果より

多くのアンケート項目において、「よくできている」「大体できている」という肯定的な回答が一学期よりも増えています。前期のアンケート結果を生かしつつ、取組を進めてきたことが一定の効果を出したようです。特に「係や当番など、自分の役割を意識し、最後までやりとげている」の項目が伸びていました。この要因には、「係活動において実現可能な活動とは?」「クラスの役に立つためには、どうすればよいか?」といった視点で考えて活動を進めてきた学年の取組もあるようです。また、掃除の時間には、自分の役割を終えても、さらにできることを考えて取り組んでいる子も見られます。

一方で「15分以上読書をしている」と「規則正しい生活をしている」の2項目については大きな落ち込みが見られました。読書については本を読む時間だけにとらわれず、従来の取組以外にも、本を読む楽しさやよさを実感できる取組をしていきたいと考えます。また、生活リズムについては、保健室から生活リズムを整えるよさを発信するだけでなく、健康観察時など、折にふれて担任からも話ををしていきたいと思います。



保護者のアンケート結果より

多くのアンケート項目において、「よくできている」「大体できている」という肯定的な回答が一学期よりも減っています。ただ、「子どもが、良いと思ったことは自分で決めて行動すること」の項目は大きく伸びていました。昨年度より、教職員が指導する際には、「子どもたちが自己決定できるようにする」ことを意識してきました。「先生やおうちの人に言われたから」ではなく、自分で考えて行動を決定する力が家庭でも見られるようになったのは、嬉しい傾向です。

一方で、「進んで読書をしている」と「進んで挨拶を行うこと」、「規則正しい生活をしている」の3項目については、大きな落ち込みが見られました。次年度以降、家庭とともにできる取組を発信していくければと考えています。ご理解とご協力をよろしくお願ひします。





(児童のアンケート結果)

質問項目	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない
1 毎日学校に来るのが楽しい	45.3%	45.3%	7.1%	2.4%
	51.5%	37.8%	7.0%	3.7%
2 自分の思いや考えをはっきり話している	31.5%	44.5%	20.1%	3.9%
	42.2%	34.4%	20.0%	3.3%
3 めあてに向かって進んで学習に取り組んでいる	53.1%	40.2%	5.5%	1.2%
	55.6%	36.3%	5.6%	2.6%
△ 4 学校や家庭で15分以上読書している	38.6%	30.7%	16.1%	14.6%
	36.7%	30.4%	20.7%	12.2%
5 授業でタブレット/パソコンを使うと勉強が分かりやすい	60.6%	28.7%	7.9%	2.8%
	52.2%	38.9%	6.3%	2.6%
6 学校のルールやマナーを守っている	46.1%	43.7%	8.7%	1.6%
	63.3%	30.0%	4.4%	2.2%
7 係や当番など、自分の役割を意識し、最後までやりとげている	66.1%	29.9%	3.5%	0.4%
	58.1%	35.9%	3.7%	2.2%
8 学校や家庭、地域で進んであいさつをしている	52.8%	32.3%	11.8%	3.1%
	47.0%	42.6%	7.4%	3.0%
9 友だちやクラスの人ことも考えて、よいと思ったことは自分で決めて行動している	42.9%	44.1%	10.2%	2.8%
	51.5%	35.6%	10.4%	2.6%
10 友達や周りの人のことを大切に思い、優しくしている	54.7%	40.9%	3.9%	0.4%
	58.1%	35.9%	3.7%	2.2%
11 先生は、自分のおもいを分かってくれている	55.9%	35.8%	6.7%	1.6%
	55.9%	35.9%	5.6%	2.6%
△ 12 規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)をしている	35.4%	39.0%	17.7%	7.9%
	44.4%	35.9%	14.1%	5.6%
13 進んで体を動かして遊んだり運動したりしている	61.8%	25.2%	10.2%	2.8%
	55.2%	33.3%	8.5%	3.0%

児童 実現度比較データ(対R6一学期)

上段……今回(R6二学期)

下段……前回(R6一学期)

○印は一学期に比べて「よくできている」「大体できている」の割合が増えたものです。

△印は一学期に比べて「よくできている」「大体できている」の割合が減ったものです。

(保護者のアンケート結果)

質問項目	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない
1 子どもが毎日学校に行くのが楽しいこと	51.6%	41.5%	5.1%	1.8%
	54.7%	41.8%	3.5%	0.0%
2 子どもが、思いや考えをはっきり話すこと	24.0%	59.9%	15.2%	0.9%
	28.4%	56.2%	14.4%	1.0%
3 子どもが、めあてに向かって進んで学習に取り組むこと	25.3%	58.1%	14.7%	1.8%
	27.4%	55.7%	16.9%	0.0%
4 子どもが、学校や家庭で進んで読書すること	27.6%	25.3%	34.1%	12.9%
	24.4%	34.3%	32.3%	9.0%
5 子どもが、学習でICT(タブレットPC等)を効果的に活用すること	23.5%	56.7%	15.2%	4.6%
	25.4%	60.2%	12.4%	2.0%
6 子どもが、学校のルールやマナーを守ること	30.0%	64.1%	6.0%	0.0%
	40.8%	54.2%	5.0%	0.0%
7 子どもが、係や当番など、自分の役割を意識し、最後までやりとげること	42.9%	52.1%	5.1%	0.0%
	45.3%	50.2%	4.5%	0.0%
8 子どもが、学校や家庭、地域で進んで挨拶を行うこと	27.6%	51.2%	19.4%	1.8%
	26.9%	56.2%	16.4%	0.5%
9 子どもが、周りの人のことも考えて、よいと思ったことは自分で決めて行動すること	24.0%	65.0%	10.1%	0.9%
	23.4%	59.7%	14.9%	2.0%
10 子どもが、友達や周りの人のことを大切に思い、優しくすること	44.7%	50.7%	4.6%	0.0%
	43.8%	50.2%	6.0%	0.0%
11 子どもや保護者が、おもいや考え方を先生に受けとめてもらえること	36.4%	59.9%	3.2%	0.5%
	39.3%	57.2%	3.5%	0.0%
12 子どもが、規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)をすること	26.7%	47.9%	21.2%	4.1%
	31.8%	53.7%	13.9%	0.5%
13 子どもが、進んで体を動かして遊んだり運動したりすること	35.5%	44.2%	18.9%	1.4%
	42.8%	40.3%	15.9%	1.0%

保護者 実現度比較データ(対R6一学期)

上段……今回(R6二学期)

下段……前回(R6一学期)

令和6年度 2学期学校評価アンケート 実現度による順位づけ

	児童質問項目	順位	保護者質問項目	順位	教職員質問項目	順位
学校像 1	毎日学校に来るのが楽しい	5	子どもが毎日学校に行くのが楽しいこと	5	児童が、毎日学校に来ることを楽しいと思っていること	3
知 2	自分の思いや考えをはっきり話している	11	子どもが、思いや考えをはっきり話すこと	7	児童が、自分の思いや考えをしっかりとと言えること	8
知 3	めあてに向かって進んで学習に取り組んでいる	3	子どもが、めあてに向かって進んで学習に取り組むこと	8	児童が、めあてに向かって進んで学習に取り組むこと	1
知 4	学校や家庭で15分以上読書している	13	子どもが、学校や家庭で進んで読書すること	13	児童が、進んで読書に取り組むこと	10
知 5	授業でタブレットパソコンを使うと勉強が分かりやすい	7	子どもが、学習でICT(タブレットPC等)を効果的に活用すること	9	児童が、学習でICTを効果的に活用すること	5
徳 6	学校のルールやマナーを守っている	6	子どもが、学校のルールやマナーを守ること	4	児童が、学校のルールやマナーをしっかりと守ること	13
徳 7	係や当番など、自分の役割を意識し、最後までやりとげている	1	子どもが、係や当番など、自分の役割を意識し、最後までやりとげること	3	児童が、係や当番など、自分の役割を意識し、最後までやりとげること	5
徳 8	学校や家庭、地域で進んであいさつをしている	10	子どもが、学校や家庭、地域で進んで挨拶を行うこと	11	児童が、進んであいさつすること	12
徳 9	友だちやクラスの人のことも考えて、よいと思ったことは自分で決めて行動している	8	子どもが、周りの人のことも考えて、よいと思ったことは自分で決めて行動すること	6	児童が、周りの人のことも考えて、よいと思ったことは自分で決めて行動すること	9
徳 10	友達や周りの人のことを大切に思い、優しくしている	2	子どもが、友達や周りの人のことを大切に思い、優しくすること	2	児童が、友達や周りの人のことを大切に思い、優しくすること	1
徳 11	先生は、自分のおもいを分かってくれている	4	子どもや保護者が、おもいや考え方を先生に受けとめてもらえること	1	児童や保護者からの訴えや相談内容を学年や学校体制で共有しながら、学級経営を進めること	4
体 12	規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)をしている	12	子どもが、規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)をすること	12	児童が、規則正しい生活すること	11
体 13	進んで体を動かして遊んだり運動したりしている	8	子どもが、進んで体を動かして遊んだり運動したりすること	10	児童が、進んで体を動かして遊んだり運動したりすること	7

三者（児童・保護者・教職員）の実現度の比較より

三者（児童・保護者・教職員）ともに「10. 友だちや周りの人優しくすること」「11. 思いを分かってもらうこと」といった強みを引き続き認識しています。また、「7. 自分の役割を意識し、やりとげること」についても、新たに強みとして認識することができています。

一方で三者ともに「4. 進んで読書をしている」「8. 進んであいさつをしている」や「12. 規則正しい生活をしている」については、課題としてとらえているようです。

梅小路小学校の子どもたちのよさを伸ばしつつ、今ある課題を少しでも克服していくように、今後とも保護者や地域の方と協力しながら、取組を進めていきたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

保護者の皆様からのご意見

- 友だちと遊ぶのが楽しいと言って学校へ行っている。わいわいしたおだやかな雰囲気で授業する姿を参観で見られているのでほっとしている。席替えをして、友だちやグループの仲間と切磋琢磨して交流したり、成長したりしている様子が、子どもとの会話から垣間見えるのがよい。
- 図工や総合では、自分の得意分野を存分に發揮し、周りの人に褒めたり、認めもらったりしたことで、自己肯定感があがって良かったです！これからも得意を伸ばし、苦手な事にも前向きに取り組んでいく力が伸びていけばと思います。いつも気持ちを聞いて受け止めもらえる環境に感謝しています。
- 宿泊行事や校外学習にとても楽しんで参加していました。クラスでのイベントや係活動もいつも子どもが楽しみにしています。担任の先生がいつも工夫してクラス運営してくださり、感謝しています。
- こちらのアンケートもそうですが、修学旅行の説明や体操服の購入等がインターネットででき、とても便利で助かりました。
- △運動会に関しては競うということも必要なのかなと感じました。(運動会ではなく体育参観なので、仕方ないかと思いつつ、何かモヤモヤっとしました。)
- △タブレットの宿題について、うちの娘にとってはプリントの方が扱いやすい時があるようです。特に筆算に困っていました。
- ☆学校での読書時間をもう少し増やしてください。
- ☆体育学習発表会の案内の中に、どんなところを見て欲しいか、練習中のエピソードなどを盛り込んで教えていただけだと、見る方も別の新しい視点で発表を見ることができます。
- …など、たくさんのご意見をいただきました。



(2月7日実施) 学校運営協議会役員会より

- 本を読むことについては、ずっと課題になっている。本を読むことで考える力がつくれると思う。考えるクセをつけていってほしい。SNSで発信される情報を鵜呑みにしないように、考える力は必要だ。
- 冬の音楽学習発表会では、発表を聞いた子どもたちが全校児童を相手に感想を発表していた。たくさんの子が手を挙げて発表しようとしていたところは、大きく成長したところのように思う。
- 自分で考えて行動できない子どもが増えているように思う。読書では読むだけでなく、どんな感想を持ったか伝え合う場面を設けることで、意見を考えて表出する力を育てられるのではないか。
- 読書では、タブレットとは違った考える力を培うことができると思う。読んだ内容を伝えるのはいいが、子どもたちが喜んだり楽しんだりできる活動にしないといけない。
- ルールやマナーに対して、教職員ができていないと判断しているが、何があったのか。
⇒特段大きなトラブルがあったわけではないが、運動場での遊びのきまりが守れなかったり、予鈴とともに戻れなかったりする児童が見られるようになってきている。もう一度ルールを確かめていくようにしたい。